

第1回

平成29(2017)年 8月 17日(木) 13:00~16:00

場所：マリンホール（沖洲マリンターミナルビル2階）

「人権全般」

テーマ 人権研修のすすめ方

子どももおとなも自分を大切に、自分らしく安心して生きることができる地域社会づくりへの貢献をめざし、97年から活動し、02年えんばわめんと堺/ESを設立。行政・地域・教育機関と連携し、人権研修をおもにワークショップで展開しています。特に子どもの人権をベースに、日常の中にあるさまざまな問題と向き合い、地域社会へ意識向上の啓発に取り組んでいます。

講師：北野 真由美さん

NPO 法人えんばわめんと堺/ES 代表理事

堺市在住。大阪多様性教育ネットワーク (ODEN) ファシリテーター、人権研修ファシリテーター。主な活動として人権研修や人間関係づくり（コミュニケーション、ネットいじめ、デートDVなど）、多様性教育を、参加型研修（ワークショップ）ですすめている。

第2回

平成29(2017)年 9月 8日(金) 13:30~15:30

場所：マリンホール（沖洲マリンターミナルビル2階）

「子どもの人権」

テーマ 子どもの貧困問題を考える
ー学校と夕刻を支える場の実践

13年6月に「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が成立し、全国各地でさまざまな取り組みがはじまっています。子どもの貧困問題を考えることをきっかけに、「すべての子どもの居場所」について考えてみたいと思います。学校から見える子どもの貧困の実際と、学校と支援団体が手をつないで子どもの居場所を作ることを目指している、「夕刻を支える場」の活動を紹介します。

講師：金澤 ますみさん

桃山学院大学准教授

児童相談所一時保護所嘱託指導員、社会福祉士養成の専門学校を経て、05年度からスクールソーシャルワーカー (SSW) に。現在は、SSWのスーパーバイザーも務める。社会福祉士。14年4月より現職。専門は、児童福祉、スクールソーシャルワーク、司法福祉。

第3回

平成29(2017)年 10月 12日(木) 12:30~15:30

場所：亀岡市立人権福祉センター（現地研修）

「同和問題」〈コミュニティデザインと人権〉

テーマ いのちの居場所づくり
貧困を緩和するコミュニティデザイン

「ぼくになにができるのだろう」産前・産後のママの本音とパパのつぶやきを『こそだて・しごと・せいかつを楽しむパパのための手帳』にまとめました。差異ある他者を理解するには、共に生きていることを分かちあえる友人やパートナー、家族との時間や地域社会での居場所が必要です。子どもの貧困や高齢者への虐待、不登校やひきこもり、発達障がいを抱える親子の育ちを地域・保育所・学校・NPOがどのように支えることができるのか、いのちの居場所づくりの実践を共有できれば嬉しく思います。

講師：杜 恵美子さん

NPO 亀岡人権交流センター理事長

1995年「親と子の人権相談室」開室。2001年 NPO 法人設立。隣保館を拠点とした総合相談、多世代共生・社会循環型プログラムを実施。厚生労働省「平成28年度全国母子・父子自立支援員研修会」にて「子どもの貧困対策」について講演。

第
4
回

平成29(2017)年 11月9日(木) 13:30~15:30

場所：マリンホール（沖洲マリンターミナルビル2階）

「様々な人権」〈環境と人権〉

テーマ

手渡したいのは青い空
公害の経験から未来を考える

1960年代から全国的に問題となった大気汚染公害。激甚な被害をうけた大阪・西淀川の公害患者は、1978年に日本最大の原告を数える大気汚染公害裁判を提訴しました。「手渡したいのは青い空」という願いを掲げ、95年には被告企業と和解。和解金の一部を基金に設立されたあおぞら財団では、公害の経験に学び、教訓としながら、環境を守り、人権の尊重されたよりよいまちづくりに取り組んでいます。

講師：栗本 知子さん

〈公財〉公害地域再生センター（あおぞら財団）研究員

05年から5年間、部落解放・人権研究所で「部落解放・人権大学講座」事務局。また、人権啓発ファシリテーターとして、各地で実践を重ねる。14年度より〈公財〉あおぞら財団研究員に着任。ESD（持続可能な開発のための教育）の観点から、人権と環境の視点を重視したプログラムづくりに取り組んでいる。

第
5
回

平成29(2017)年 12月14日(木) 13:30~15:30

場所：ブライダルコアときわホール（男女参画交流センター2階／アスティとくしま内）

「人権全般」

テーマ

自死遺族として生きる

2006年、当時日本で初めて公開しての自死遺族の自助グループのわかちあいの会を設立。08年、活動団体としての全国自死遺族連絡会を設立。宮城県内6か所に「自死遺族のわかちあいの会」の設立。様々な遺族が集う「遺族の茶話会」、一般市民のための「藍色のこころサロン」、子どもを亡くした親の会「つむぎの会」を3か所開催しています。それぞれの専門家と連携して総合支援を目的として活動しています。

講師：田中 幸子さん

〈一社〉全国自死遺族連絡会代表

05年、宮城県警察官長男自死
06年、自死遺族の自助グループ「藍の会」設立
08年、全国自死遺族連絡会設立
15年、みやぎの萩ネットワークの設立

第
6
回

平成30(2018)年 1月19日(金) 13:30~15:30

場所：マリンホール（沖洲マリンターミナルビル2階）

「人権全般」〈災害と人権〉

テーマ

福島のこと、地方のこと

東北の地方都市と農山漁村の研究が長く、市町村合併時に合併後の地域づくりやリゾート跡地問題、限界集落や学校統廃合などの課題を地域の人々と一緒に考えてきました。また、東日本大震災と原発事故に際しては、被災地の方々や研究者と交流し、ともに将来像を考える仕事をしてきました。東北地方と首都圏との関係性を一体的に見ることで、将来の地域づくりを考えています。

講師：山下 祐介さん

首都大学東京准教授

1969年生まれ。九州大学助手、弘前大学准教授を経て11年より現職。過疎高齢化、災害、環境問題などに取り組む。専攻は社会学（都市社会学・地域社会学・環境社会学）。著書に「限界集落の真実」「地方消滅の罅」「人間なき復興」がある。

申込方法

受講申込書に必要事項を記入し、あいぽーと徳島まで郵送またはFAXにてお申し込みください。
※第1次締切：平成29(2017)年8月3日(木)まで。以降は、随時募集します。
※原則として全6講座の受講となりますが、1回のみの受講も可能です。

問い合わせ先

あいぽーと徳島 TEL 088-664-3719

〒770-0873 徳島市東沖洲2丁目14 沖洲マリンターミナルビル内

----- キ リ ト リ セ ン -----

送信先 あいぽーと徳島

FAX 088-664-3727

人権教育啓発リーダー養成講座 受講申込書

ふりがな		
名前		
所属名		
住所 (所在地)	〒	
連絡先 電話番号		
受講希望の テーマ	☐ 6講座すべて受講	
	☐ 第1回 人権研修	☐ 第4回 環境と人権
	☐ 第2回 子どもの人権	☐ 第5回 自死問題と人権
	☐ 第3回 現地研修	☐ 第6回 災害と人権
意見・要望		

この申込書にご記入いただいた個人情報は、本講座以外には使用しません。

平成 29(2017)年度

人権教育啓発リーダー 養成講座

開催要項 受講生募集

あいぽーと徳島では、県民一人ひとりの人権が尊重される社会づくりのため、地域課題に即応した人権教育啓発の推進者となる人材を育成する講座を開催します。

「一人ひとりが夢ある未来のために さあ 出発しよう」

主 催

徳島県立人権教育啓発推進センター

あいぽーと徳島

指定管理者 特定非営利活動法人 徳島ヒューマンネット

対象者

市町村の人権教育啓発担当者及び
人権教育啓発に関する団体に所属する方

会 場

沖洲マリントーミナルビル・マリンホールほか

定 員

30 人程度

受講料

無料

内 容

様々な人権問題の解決に向けたポイントや、先進的な取り組み事例などを学ぶことができます。また、基礎的な内容から専門性に富んだ内容まで、みなさんの多様なニーズに応えられるよう講座内容を設定しました。